

いわちゃん ポスト

千葉県議会議員

岩井やすのり

岩井やすのり事務所：印旛郡栄町安食台2-26-23 大山ビル202

TEL.0476-36-7799 FAX.0476-36-7802

HP <http://www.iwai-y.jp> mail mail@iwai-y.jp

県内初

北千葉道路 掘割部区間

時速70キロへ

印西～成田間の東側延伸事業が進められている北千葉道路（国道464号）。来年2月に成田市北須賀まで開通すると同時に、県内一般道では初めて、一部区間の制限速度が時速70kmに引き上げられる見通しであることがわかりました。

●日医大～成田北須賀間
2月供用開始見込み

北千葉道路とは、首都圏の東京外か



北千葉道路工事区間 (H28.10 印西市若萩)

く環状線から千葉ニュータウン地区を経て、成田国際空港を結ぶ全長約43kmの一般国道のこと。現在の終点となっている印西市若萩から成田大谷津球場手前の成田市押畑までの開通は平成30年度（平成31年春）、成田国際空港近くの成田市大山までの開通は平成41年度とまだ先の話ですが、さしあたり年明けの2月に、一部区間が延伸、供用開始となる見込みであることが明らかになりました。

今回開通するのは、印旛日本医大に近い印西市若萩から印旛沼甚兵衛大橋に程近い成田市北須賀までの4・2kmの区間。年内には吉高交差点、北須賀交差点の改良工事とともに、舗装等の本体工事が終了し、ガードレール等の安全施設工事の後、来年2月の中旬から下旬ごろの供用開始となる見込みとなっています。

●制度改正により60キロ超可能に

そのような中で注目されているのが、掘割部区間の制限速度変更です。自動車制限速度の標識、表示がない一般道を走行する場合、最高速度は時速60

印西市に活動の場を広げ

現在、県議会では議員定数や選挙区割りの見直しが進められています。特に、印西市の県議1人あたりの人口が県内で最も多いことから、栄町と印西市選挙区の合区案が有力となっているところ です。

地域から選出の現職県議として、栄町に加え、千葉NT、本埜、印旛、小林、木下地区など印西市全域にて広く政務活動を行ってまいります。どうぞよろしくお願い致します！

岩井やすのりプロフィール

昭和45年(1970年)1月10日生まれ 46歳
早稲田大学大学院 政治学研究科修了

両親はともに全盲の視覚障害者。その種類を問わず、一様に困窮する障害者の生活を目の当たりにしてきたことが政治家を目指すきっかけに。栄町議ののち千葉県議当選、現在2期目。

岩井やすのり

46歳

岩井やすのり

検索

北千葉道路 一部時速70キロへ



●吉高交差点の安全対策が課題
さて、2月に開通となる印西市若萩～成田市北須賀のうち、若萩交差点から吉高交差点までは片側2車線であるものの、吉高交差点より先は片側車線で供用開始となります。したがって、特殊な形状となる吉高交差点で、上り車線を走行してきた車両が誤って下り車線に進入してしまう懸念があり、十分な安全対策が必要です。県は、成田方面からの上り車線に、車線が大きく変わる旨の標識、看板等を設置するとしていますが、下り車線においても、吉高交差点付近の逆走車に注意喚起するよう求めたところです。北千葉道路の延伸により利便性向上が大きく期待される一方、利用者の安全が損なわれることがないよう引き続き注視してまいります。

文化審 漢字「とめ・はね」違い許容～現場徹底が課題

●文科省では60年以上「緩やか基準」

文化庁の文化審議会漢字小委員会は今年2月、漢字文字に関する指針を発表しました。手書き漢字で「とめ」「はね」等に細かい違いがあっても誤りではなく、多様な字形が認められるとされたのです。

報告書は2136ある全常用漢字の字形例を示しながら、漢字の「とめ・はね・はらい」の他、線の長短や方向等、字形の違いがあっても、文字の骨組みにあたる字体の違いがなければ誤りと判断することはできないとしています。

実は、文科省(文部省)では1949年の「当用漢字字体表」以来、漢字の字体・字形について、その文字特有の骨組みが読み取れるのであれば誤りとしなないとしてきました。現に2010年の文科省通知でも、「児童生徒が書いた漢字の評価については、指導した字形以外の字形であっても、指導の場面や状況を踏まえつつ、柔軟に評価すること」とし、「とめ・はね」等の違いがあっても誤りとしなないとしているのです。

●統一教科書字形の絶対視がきっかけ

では、漢字細部へのこだわりが始まったのは、一体いつ頃のことでしょうか?それは、1960年代初頭だと言われています。

戦後まもない時期、教科書ごとに使用された漢字の字形はバラバラだったそうですが、1961年の文部省通達によりその字形統一が図られます。すると、小中学校等の教育現場で教科書字形を絶対視した、細部にこだわった指導が始まったのです。教科書文字に合わせ、「木」の2画目の縦棒ははねてはならない、「天」は上の横棒が長くてはならない等です。

しかし、印刷文字としての字形統一がなされた

木	木	机
禾	委	積
牛	特	牧
糸	糸	絹
小	県	少
東	園	遠
門	門	問
示	示	禁
禾	衆	禁

常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)より抜粋

だけで、その字形だけが正しいとした指導は無理があります。印刷文字の漢字も手書き文字の漢字も同じ字体を備えていれば、漢字としてはどちらも正しいのですから。

なお、1961年に統一したというものの、教科書ごとに微妙な差が残っており、1977年に完全な字形統一がなされるまで、使用教科書によって正しいとされる漢字字形が異なるという矛盾も発生しています。

●公立高入試でも誤答とされるケースが…

ある県の公立高校入試では、「招」の手へんがはねておらず誤答(全体の5.7%)、「慣」のりっしんべんがはねていて誤答(同5.4%)とされる等しており、「とめ・はね」は受験生にとって切実な問題です。

整った読みやすい漢字を心がけることは大切にしなければならない一方で、とめ・はね等に細かい違いがあっても誤りでなく、多様な字形が認められるということが、入学試験の評価や学校教育の指導にあたる関係者の共通認識となることが必要です。



県立房総のむら 公衆トイレ改修が完了



公衆無線LAN整備とともに、房総のむら施設に求めてきたのが、園内公衆トイレの改修です。昭和61年の開園以来、設備改修がなかったため、トイレの老朽化が激しく、さらにその多くが和式トイレであったため、外国人旅行者に使いづらいものとなっていました。昨年の2月県議会にてこの問題を取り上げ、トイレの洋式化など計画的な施設修繕や改修を町とともに要望。昨年度の11か所24器のトイレ改修に引き続き、この10月に駐車場前と大木戸入口の2か所トイレの大幅改修を以て、予定されていた全てのトイレ改修事業が完了しました。ますます居心地のいい房総のむらとなり、うれしい限りです。

房総のむら 無料公衆無線LANを年度内整備へ

訪日外国人からのニーズが高い無料公衆無線LAN(以下、「無料Wi-Fi」)。栄町にある県立房総のむらに、年度内に整備されることが明らかとなりました。

●訪日外国人36% Wi-Fi未整備「困った」

昨年1年間の訪日外国人の数は1974万人で、前年から47%余り増加し過去最高を更新。さらに2020東京五輪・パラリンピックに向けて、一層の増加が期待されています。

外国人旅行者が増える中、観光施設で整備すべき点として挙げられるのが無料Wi-Fi。スマートフォンやノートパソコン等の利用者が、外出先等でインターネットに無料で接続できるサービスのことです。日本では3GやLTEが普及しており、無料Wi-Fiを利用することはそう多くありませんが、欧米アジア各国では、公共施設や観光施設での無料Wi-Fiの利用が一般的。さらに、日本の無料Wi-Fiは会員限定であるものが多く、非会員の外国人旅行者が利用できないことも問題で、「外国人旅行者が「旅行中に困ったこ

と」として、「無料公衆無線LAN環境(無料Wi-Fi)」が36.7%と最多となっているのです。

●電柱のない房総のむら 光ケーブルで対応

さて、房総のむらは成田国際空港に近く、日本の伝統文化を体験できる博物館であることから、県立美術館、博物館の中で外国人来館者が最も多い施設です。これまでも、日本に来てよかったと満足してもらい、リピーターとして再来日してもらえんことの重要性を訴え、房総のむら園内の無料Wi-Fi整備を求めてきましたが、この10月の県議会一般質問において、いよいよ今年度中に設置されることが明らかとなりました。答弁では、園内は昔ながらの街並みを再現するため、無線LANの設置に利用される電柱がないことから、特に光ケーブルを敷設する設計を進めているとも。

日本の空の玄関口である成田に隣接し、ますます増える外国人旅行者を迎えるにふさわしい房総のむらの施設整備に、引き続きの働きかけを行ってまいります。